

米中経済戦争の行方と 東アジア経済への影響

大阪産業大学アジア共同体センター(ACRC)

国際シンポジウム 大阪産業大学経済学部

日時：2019年11月24日(日)10:00-17:30

場所：梅田サテライト・キャンパス(大阪駅前第3ビル 19階)

	題目	報告者・コメンテーター
10時30分～10時40分	学部長挨拶	大阪産業大学：富澤拓志
10時40分～10時50分	主旨説明	大阪産業大学：福井清一
10時50分～11時30分	米国における米中経済戦争の背景と今後の行方	講演 杏林大学：三浦秀之
11時30分～12時10分	米中経済戦争下の「中国製造2015」と「一帯一路」構想	福井県立大学：鄭 海東 コメンテーター：大阪産業大学 門闕
12時10分～13時30分	昼食	
13時30分～14時10分	米中貿易紛争が韓国経済に及ぼす影響と政策対応	韓国啓明大学：Lee Kidong コメンテーター：大阪産業大学 李東俊
14時10分～14時50分	Trade Conflict between the US and China 2019- and Implication for Thailand：A Dynamic Response of Thailand and Strategy	埼玉大学：Kitti Limsukl コメンテーター：大阪産業大学 福井清一
14時50分～15時10分	コーヒー・ブレイク	
15時10分～15時50分	ベトナムにとっての米中貿易戦争	専修大学：池部亮 コメンテーター：桜美林大学 ド・マン・ホーン
15時50分～16時30分	日本経済への影響と辿るべき進路：中国産業政策の視点から	日本大学：朽木昭文 コメンテーター：大阪産業大学 富澤拓志、古谷真介
17時00分～17時10分	総括	大阪産業大学：韓福相